



宮崎県物産貿易振興センター NEWS

Miyazaki Prefecture Products Trade Promotion Center News Paper

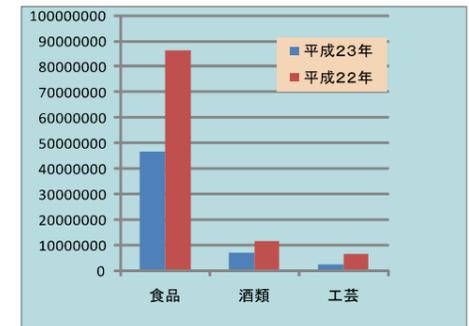
Vol.31

みやざき物産館の4・5月の売上情報

みやざき物産館の4月・5月の売上は対前年比54%、レジ通過客数も対前年比56%という結果となっております。食品の中では、1位・2位の売上を占める畜産品類・菓子類の売上が約半分にまりました。また、一時期は200を超える前知事イラスト付関係の商品が現在では約30となり、お土産品(工芸)の売上も前年を大きく下回りました。実演販売をしている商品の売り上げは常に上位にあり、納得をされればご購入いただけるということではないかと思われまます。みやざき物産館のスタッフが商品の優れた点をお客様にご説明できるように日々努力していきたいと思えます。

(営業課 濱田)

みやざき物産館の4・5月の売上比較



TOPICS

東日本大震災への支援

東日本大震災による被災者や被災地の支援を目的として、4月29日(金)~5月12日(木)の間、みやざき物産館において宮城・岩手・福島県の応援フェアを、5月9日(月)~5月19日(木)の間、新宿みやざき物産館 KONNE で宮城県応援フェアを実施しました。

みやざき物産館では、宮城県の「笹かまぼこ」や「ずんだ餅」、岩手県の「南部せんべい」や「かもめの卵」、福島県の「玉ようかん」や「けしまんちゅう」など、40品目を集めフェアを開催し、河野知事にもトップセールスを行っていただいたところ、たくさんのお客様に来店いただき、東北3県の特産品を買っていただきました。

なお、みやざき物産館の応援フェア期間中の売上の一部100万円を被災者や被災地の支援を目的として宮崎県が設置する基金に寄附しました。



贈呈式の様子

平成二十三年 通常総会開催

(社)宮崎県物産貿易振興センターの本年度の通常総会が6月8日(水)、宮崎市のニューウェルシティ宮崎で開催されました。冒頭、佐多会長は「昨年度、本県は、口蹄疫、鳥インフルエンザの発生、新燃岳の噴火など、大きな打撃を受けた。当センターも自然災害や消費控への傾向などで、ここ数年の売上において大変な苦戦をしている。本年度は、会員企業全員が、一丸となってこの難局に立ち向かい、高品質で、信頼性の高い宮崎県産品を、県内外にアピールし、販路拡大に努めていかなければならない。」と会員の結束を訴えました。

続いて、来賓の河野宮崎県知事は、「県としては、「オールみやざき営業チーム」により「みやざきブランド」の素晴らしさを情報発信していくとともに、東アジア地域での県産品の販路拡大を図っていきたい。」とあいさつされました。議事では、前年度の事業報告・決算報告、今年度の事業計画案、収支予算案及び役員改選について審議され、それぞれ原案どおり承認されました。

また、役員改選では、4月に就任した山口俊匡事務局長が理事に選任され、常務理事に就任しました。海外交流駐在員報告会・講演会」総会にあわせて、上海及び台北の海外交流駐在員報告会が行われ、最近の中国、台湾の情勢等が報告されました。また、(株)フェリスモ顧問の早崎昭夫氏を招いて、「六次産業成功のひけつ」と題して、第一次産品を活かした商品開発等についての講演会を開催しました。

佐多会長 挨拶

河野知事 挨拶

早崎昭夫氏 講演



「みやざき物産館」リニューアルオープン 4/29

みやざき物産館は店内や屋外施設の改修を行い、より親しみやすく、利用しやすいアンテナショップとして4月29日(金)にリニューアルオープンしました。店内の棚や壁、床の一部に県産材等を使用し、木質化を行い、商品をより見やすくするためレジカウンターや各コーナーを配置替えしました。また、屋外催事スペースへのオーニングテナントの設置やベンチの増設を行いました。

また、リニューアルオープンにあわせて、4月29日(金)~5月5日(木)の間、「リニューアルオープンフェア」を開催しました。オープニングには河野宮崎県知事も駆けつけていただき、「春のワイン祭り」、「みやざき新茶まつり」、「宮崎牛やマンゴーなど豪華県産品が当たる抽選応募券の配布など、盛りだくさんの催しでお客様をお迎えしました。

毎度ありがとうございます!

センター職員紹介



宮崎本部 乙守 寿隆

みなさんこんにちは。4月よりみやざき物産館でオンラインショップに関わるお仕事をさせて頂いております乙守です。昨年まで海外青年協力隊に参加しており、宮崎ブームや口蹄疫などの被害のニュースを遠く離れた国で聞いておりました。ブームが下火になってきていると言われますが、産地宮崎はいつも通り粘り強く物を作り続けると信じています。そんな皆様のお役に立てるよう元気いっぱいお仕事させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

(スタッフからの一言) 乙守さんは、以前研修生としてみやざき物産館で勤務した経験があります。あの頃はくりくり頭のかわいらしい(?)青年でしたが、リッパになって戻って参りました。人なつっこい話しぶりで誰からも好感を持たれています。(牧野)



宮崎本部 河野 誠

4月の人事異動で、県福祉保健部こども政策課から当センターに参りました。河野誠と申します。当センターは、一大ブームの期間を終え、新しい時期を迎えています。知り合いが皆、「大変なんじゃない?」と言いますが、頑張れば結果を出せるやり甲斐のある職場だと思っています。何をすれば宮崎の物産が県内外の方々に認めていただけるのか、日々考えています。アイデアを振り絞って、実行あるのみ!楽しく、汗をかいていきたいと思えます。頑張りますので、よろしく願います。

(スタッフからの一言) とにかく発想力が豊かな方で、いろんなアイデアを頼りに汗ながら熱く語り、やる気満々の河野次長です。宮崎の観光地についてもとても詳しくまさに強力な宮崎のセールスマン!乞うご期待を!(前田)

会員の皆様からのコラム・ご意見等を募集しています! 会員の皆様からの物産貿易振興センターに対するご意見や、商品開発、貿易等まつわるエピソードなどをお待ちしております。体裁は自由です。FAX、郵便またはメールでどうぞ。

発行 社団法人 宮崎県物産貿易振興センター 〒880-0804 宮崎市宮田町1番6号 県庁8号館 TEL:0985-22-7389 FAX:0985-22-7497 URL:http://www.m-tokusan.or.jp/ E-Mail:info-00@m-tokusan.or.jp

新宿みやざき館 KONNE 通信



梅雨も本番を迎え、客足が鈍る時期となりました。加えて今年は震災以降の購買意欲の冷え込みにより厳しい営業状況となっています。

また、4月はミニトマト(アイコ)、5月は完熟マンゴーなどの青果物を中心に営業を進めていきました。特にミニトマトの人気は高く前年を上回る勢いを見せてくれました。一方、宮崎の果実として定着しているマンゴーは、近隣のお店で価格が抑えられているためか動きの鈍さがみられました。

夏場に向かうこれからは、ゼリー、カレーや冷汁など夏季の特徴を活かした商品を揃えるなど、魅力ある売場づくりを進め、暑い夏を乗り切っていきたいと考えています。



このような中、新宿 KONNE では、5月9日から5月19日の10日間、宮城県応援フェアにより震災復興支援を実施するとともに、東京都庁や大宮駅等でのミニ催事など、積極的に外販を行っているところです。



▲店内売場照明も一部消灯のままです。



みやざき物産館の屋外での物販イベントを募集しています。去る4月29日、リニューアルオープンし、みやざき物産館の看板に大きく「み」のマークが登場いたしました。屋外テント設置や休憩用長椅子の増設なども行い、楽しいお買い物や憩いを提供するスペースにしています。この軒下空間を「みの下マルシェ(マルシェとはフランス語で「市場」のこと)」と呼び、賑わいづくりをしたいと考えておりますので、広く会員の皆様に活用をお願いします。

「み」の下マルシェ(出店募集)



《お問い合わせ先》
営業課
牧野(マキノ)、西山
TEL 0985-22-7389

新会員の紹介

【4月新規入会】

- 蒸気屋(宮崎市) 畜産加工品
- ㈱アジア農産(宮崎市) 農産加工品
- 蔵や(宮崎市) 畜産加工品
- おたに家(高千穂町) 農産加工品
- 釘宮商店(延岡市) 水産加工品
- NPO法人五ヶ瀬自然学校(五ヶ瀬町) 農産加工品
- 彩草工房(国富町) 手工芸品
- 永迫梨園(小林市) 農産品
- ㈱いこの家(高千穂町) 水産加工品

【5月新規入会】

- 井ヶ田製茶北郷茶園(日南市) 農産品
- たいき食品(串間市) 農水産加工品
- やなちゃんの店(高千穂町) 菓子製造
- 金丸食鳥(宮崎市) 畜産加工品
- ウッドワーク・サンデザイン(日南市) 手工芸品
- 九電産業(宮崎市) 卸販売

よろしくお願ひします

就任のごあいさつ



東京支部長
高林 克彦

6月より、「新宿みやざき館 KONNE」の東京支部長を務めることになりました高林克彦と申します。どうぞ宜しくお願いします。

宮崎は前職の麒麟ビール時代に6年間勤務しました。その間多くの方にお世話になり、充実した時期でもありました。ここは私の第二の故郷です。その宮崎のお役に立てるチャンスを頂き、やりがいと楽しさを感じています。

KONNEは、首都圏のお客様の生活シーンと宮崎の物産の出会いの場です。お客様に宮崎の商品の美味しさをご堪能頂きファンになって頂くように、KONNEメンバー、一丸となって精一杯のおもてなしをしていきます。会員企業の皆様も「KONNE」を存分に活用頂き、皆様の成長が実現するようにお手伝いをしていきますので、どうぞ宜しくお願いします。



常務理事兼事務局長
山口 俊匡

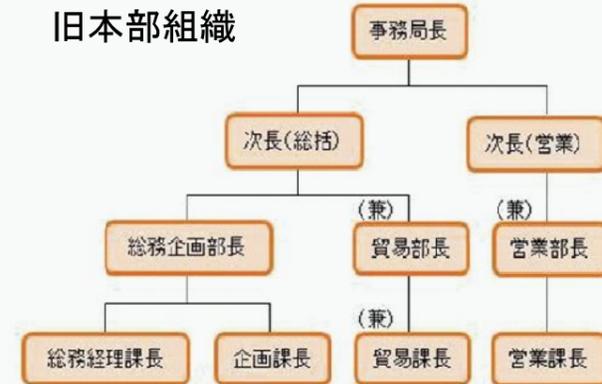
4月1日から、事務局長を務めさせていただいております山口でございます。

3月までは、県の企業立地課で企業誘致業務に携わっておりました。前任の山口事務局長同様、よろしくお願いいたします。

昨年度は、口蹄疫、鳥インフルエンザ、新燃岳の噴火と本県経済は大きな打撃を受けました。さらには東日本大震災の発生等により、消費は低迷し、大変厳しい経済環境が続いており、今年度は、当センターにとりまして真価を問われる年度になると考えております。

今後は、会員の皆様とより連携を深め、知恵を出し、工夫しながら、職員一丸となって宮崎県産品の販路拡大に努めて参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

旧本部組織



新本部組織



(社)宮崎県物産貿易振興センター本部の部制を廃止し、事務局長、事務局次長の下に総務課、企画課、営業課を配置し、スリムで機動的な業務体制としました。また、国内外の販路拡大を統一的に推進するため、貿易課を企画課に統合しました。

4月の人事異動で5人の職員が仲間入りしました。

- 事務局長 山口 俊匡
- 事務局次長 河野 誠
- 企画課長 松吉 浩
- 上海事務所所長 佐々木 大吾
- 上海事務所副所長 中原 猛
- 東京支部長 高林 克彦



事務局組織改正ならびに人事異動